

ふりがな

まちむら たかし

氏名

町村 敬志

1. 学歴

- 1979年3月 東京大学文学部第4類（社会学専修課程）卒業
1979年4月 東京大学大学院社会学研究科社会学専門課程修士課程入学
1982年3月 同課程修了
1982年4月 東京大学大学院社会学研究科社会学専門課程博士課程進学
1984年9月 同課程退学
2013年7月 博士（社会学）、東京大学

2. 職歴・研究歴

- 1984年10月 東京大学文学部助手
1988年4月 筑波大学社会科学系講師
1991年10月 一橋大学社会学部助教授
1993年8月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員研究員（フルブライト研究員）（95年2月まで）
1999年4月 一橋大学社会学部教授
1999年9月 北京日本学研究中心訪問教授（北京外国語大学）（2000年1月まで）
2000年4月 一橋大学大学院社会学研究科教授に配置替え
2012年12月～2014年11月 一橋大学大学院社会学研究科長・社会学部長
2020年4月 一橋大学社会学研究科特任教授

3. 学内教育活動

（A）主な担当講義名

（a）学部学生向け

社会科学概論、社会科学概論I、地域・都市社会学、社会調査法II

（b）大学院

社会学、世界都市論

（B）ゼミナール

3年演習、4年演習、大学院演習

4. 主な研究テーマ

- ・多重スケール的な社会変動における構造・主体・心性の共変関係についての研究
- ・グローバル化の都市社会へのインパクト、世界都市研究
- ・開発主義の構造と心性に関する実証研究（ダムを中心とするフィールド調査、歴史研究、映像研究）
- ・社会運動の生成とその多様な効果・帰結・持続をめぐる構造-主体の連関分析
- ・移動者とエスニック・メディアに関する研究
- ・メガイベント（オリンピック、万博等）・インフラと都市政治に関する研究

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

- 『都市に聴け——アーバン・スタディーズからみた東京』有斐閣, 2020年
- 『社会学 新版』(長谷川公一・浜日出夫・藤村正之との共著) 有斐閣, 2019年
- 『脱原発をめざす市民活動——3・11社会運動の社会学』(佐藤圭一との共編著) 新曜社, 2016年
- 『現代の差別と排除をみる視点 差別と排除の「いま」1』(荻野昌弘・藤村正之・稲垣恭子・好井裕明との共編著) 明石書店, 2015年
- 『都市空間に潜む排除と反抗の力 差別と排除の「いま」2』(編著) 明石書店, 2013年
- 『都市的社會學：社會顯露表象的時刻』(西澤晃彦との共著、『都市の社会学』の中国語訳) 台北：群學出版, 2012年
- 『都市社会学セレクションIII 都市の政治社会学』(編訳著) 日本評論社, 2012年
- 『開発主義の構造と心性——戦後日本がダムでみた夢と現実』御茶の水書房, 2011年
- 『社会学』(長谷川公一・浜日出夫・藤村正之との共著) 有斐閣, 2007年
- 『地域社会学講座 1 地域社会学の視座と方法』(編著、似田貝香門監修) 東信堂, 2006年
- 『開発の時間 開発の空間——佐久間ダムと地域社会の半世紀』(編著) 東京大学出版会, 2006年
- 『市民参加型社会とは——愛知万博計画過程と公共圏の再創造』(吉見俊哉との共編著) 有斐閣, 2005年
- 『社会運動という公共空間——理論と方法のフロンティア』(曾良中清司・長谷川公一・樋口直人との共編著) 成文堂, 2004年
- 『都市の社会学』(西澤晃彦との共著) 有斐閣, 2000年
- 『越境者たちのロスアンジェルス』平凡社, 1999年
- 『「世界都市」東京の構造転換——都市リストラクチュアリングの社会学』東京大学出版会, 1994年
- 『都市社会学のフロンティア1 構造・空間・方法』(倉沢進との共編著) 日本評論社, 1992年

(b) 論文

- “A Search for New Urban Narratives in the Era of Globalization: The Case of Urban Sociology in Japan”, *International Sociology*, Vol. 36, 2021 (forthcoming).
- 「連鎖の困難、つらなりの想像力——社会学は「安楽椅子」なのか」『新社会学研究』5号, 新曜社, 2021.4 (近刊), pp.67-78.
- “Gentrification without Gentry in a Declining Global City?: Vertical Expansion of Tokyo and Its Urban Meaning”, *International Journal of Japanese Sociology*, Vol.30, 2021.3, pp.6-22.
- 「新型コロナウイルスと「連鎖の社会学」——都市の現在をどうとらえるか」『計画行政』44巻1号, 2021.2, pp.15-20.
- 「グローバリゼーションの先に——「社会がやせ細る時代」を通過した社会学は何を語るのか——」『社会学評論』71巻1号, 2020.6, pp.2-17.
- 「社会運動論に「構造」的視点をいかに取り戻すか——再帰的なローカルナレッジとしての社会運動——」『社会学研究』104号, 2020.2, pp.91-117.
- 「「世界都市」と呼ばれた時代——「グローバル化」史からみた東京の1980年代を再考する」『同時代史研究』12号, 2019, pp.2-13.

- “World City”, Orum, Anthony ed., *The Wiley Blackwell Encyclopedia of Urban and Regional Studies*, Wiley, 2019, pp.1-8, DOI: 10.1002/9781118568446.eurs0417
- 「オリンピックで見上げた空はなぜ青かったのか——メガイベントの隠れた効用とその両義性——」石坂友司・松林秀樹編『1964年東京オリンピックは何を生んだのか』青弓社, 2018, pp.150-171
- 「誰が東京を奪ったのか?——都市空間変容の半世紀から考える——」『日本都市社会学会年報』35号, 2017.9, pp.5-22.
- 「ノイズとしてのパブリックスペース——「空間争い」の時代に商店街を考える——」『年報社会学論集 (関東社会学会)』30号, 2017, pp.3-15.
- 「「評価国家」における統治の構造——政治的合理性・プログラム・テクノロジー——」遠藤薫・佐藤嘉倫・今田高俊編『社会理論の再興——社会システム論と再帰的合理性を超えて』ミネルヴァ書房, 2016, pp.159-182.
- 「グローバルシティ東京と「特区」構想——「国家戦略特区」の隠れた射程を考える——」五十嵐泰正・明石純一編『移民・ディアスポラ研究4「グローバル人材」をめぐる政策と現実』明石書店, 2016, pp.190-205.
- “Why Half the Municipal Governments Disappear Under a National Mergers Policy? Changing Local Bases in “Globalizing” Japan” Healy, Ernest, Dharma Arunachalam, and Tetsuo, Mizukami, eds., *Creating Social Cohesion in an Interdependent World: Experiences of Australia and Japan*, Palgrave Macmillan, 2016, pp.115-126.
- “Tokyo's “Living” Shopping Streets: The Paradox of Globalized Authenticity”(co-author with Keiro Hattori and Sunmee Kim) Zukin, Sharon, Philip Kasinitz, and Xiangming Chen, eds., *Global Cities, Local Shopping Streets: Everyday Diversity from New York to Shanghai*, Routledge, 2016, pp.170-194.
- 「メガシティ東京の過去・現在・未来——都市比較から考える」『学術の動向』2016年1月号, 2016, pp.12-17
- 「メガイベントと都市の将来——東京オリンピックを再考する」『土木学会誌』100巻11号, 2015, pp.18-21.
- 「都市空間は誰のものか——転換期を迎える東京の風景から考える」『都市問題』106巻11号, 2015, pp.62-70.
- 「リスケーリングの視点から統治の再編を考える」『学術の動向』2015年3月号, 2015, pp.73-79.
- 「3.11以後における『脱原発運動』の多様性と重層性——福島第一原発事故後の全国市民団体調査の結果か」(佐藤圭一ほかと共著)『一橋社会科学』7号, 2015, pp.1-32.
- 「都市社会学という「問い」の可能性——構造と変動から30年を振り返る——」『日本都市社会学会年報』31号, 2013, pp.5-20.
- 「『風雪』と『虹と雪』の呪縛——はるかなる札幌オリンピックとその記憶」石坂友司・松林秀樹編『<オリンピックの遺産>の社会学 長野オリンピックとその後の十年』青弓社, 2013.5, pp.54-63.
- 「「未発」の国家リスケーリング?——「世界都市」形成から「平成の大合併」へ——」『地域社会学会年報』25号, 2013, pp.49-60.
- “Tokyo, foreigners in” Immanuel Ness (ed.) *The Encyclopedia of Global Human Migration*, Wiley-Blackwell, 2013.2, DOI: 10.1002/9781444351071.webghm532.
- ““Normal” Disaster in the 21st Century?: Understanding Cascading Effects of the East Japan Great Earthquake” *DISASTER, INFRASTRUCTURE AND SOCIETY: Learning from the 2011 Earthquake in Japan*, No.3, Study Group on Infrastructure and Society, 2012.12, pp.7-11.
- 「市民的アクティビズムの組織的基盤を探る——ミニコミ・アーカイブズの効用」『社会と調査』8号, 2012, pp.38-46.
- 「「開発」を描かない開発映画」丹羽美之・吉見俊哉編『岩波映画の1億フレーム (記録映画アーカイブ1)』東京大学出版会, 2012.6.
- 「出来事の重みから考える」今福龍太・鶴飼哲編『津波の後の第一講』岩波書店, 2012.3, pp.109-125.
- 「東日本大震災クロニクル 2011.3.11-2011.5.11」(Ueda, T. ほかと共著) *DISASTER, INFRASTRUCTURE AND SOCIETY: Learning from the 2011 Earthquake in Japan*, No.1, pp.13-269, 2011, <https://hdl.handle.net/10086/22109>

- 「東日本大震災における社会的影響の累積的構造」『生活経済政策』176号, 2011.9, pp.6-11.
- 「『都市再生』政策を再考する——10年後の課題から」『地域開発』562号, 2011.7, pp.27-31.
- “Doing Sociology in Native Languages in a Globalizing World: Thinking about its Significance and Difficulty in Japan” Michael Burawoy, Mau-kuei Chang and Michelle Fei-yu Hsieh (ed.) *Facing an Unequal World: Challenges for a Global Sociology Vol.2, Asia*, the Institute of Sociology at Academia Sinica, International Sociological Association, and Academia Sinica, 2010, pp.201-210
- 「市民活動団体の形成基盤——重層する『出来事』の創発性」町村敬志編『市民エージェントの構想する新しい都市のかたち——グローバル化と新自由主義を越えて——』（科学研究費基盤研究(B)(2005～2008年度)研究成果報告書）（一橋大学機関リポジトリで公開）, 2009, pp.53-82.
- 「現代日本における格差の重層的構造」『一橋社会科学』6号, 2009, pp.103-123
- 「メガ・イベントと都市開発——「時代遅れ」か「時代先取り」か——」『都市問題研究』60巻11号, 2008, pp.3-17.
- 「実験室としての都市——R.E.パーク、E.W.バージェス、R.D.マッケンジー『都市』井上俊・伊藤公雄編『都市的世界 社会学ベーシックス4』世界思想社, 2008.7, pp.3-22.
- 「『過剰人口』から『縮小社会』へ——戦後開発における<スケールの語り>の動員力」『地域社会学年報』第20巻, 2008.5, pp.23-40,
- 「コンタクト・ゾーンとしてのコリアン食レストラン——即興と流用の現場から」森岡清志編『都市化とパートナーシップ（講座・社会変動3）』ミネルヴァ書房, 2008.2, pp.45-74.
- 「メガ・イベントと都市空間——第二ラウンドの「東京オリンピック」の歴史的意味を考える」『スポーツ社会学研究』15号, 日本スポーツ社会学会, 2007.3, pp.3-16.
- 「戦後日本における映像体験と社会統合——映画『佐久間ダム』上映過程と「観る」主体の形成」『一橋社会科学』1号, 2007, pp.222-279.
- “The Urban Restructuring Process in Tokyo in the 1980s: Transforming Tokyo into a World City” Neil Brenner and Roger Keil (ed.) *The Global Cities Reader*, Routledge, 2006, pp.145-153.
- 「グローバリゼーションと都市空間の再編——複数化していく経路への視点——」似田貝香門・矢澤澄子・吉原直樹編『越境する都市とガバナンス』法政大学出版局, 2006, pp.35-58.
- 「メガ・イベントのグローバル・ローカル政治——国際機関・グローバル企業・地域社会」町村敬志・吉見俊哉編『市民参加型社会とは——愛知万博計画過程と公共圏の再創造——』有斐閣, 2005, pp.19-74.
- 「北京・中関村にみるグローバル化の基層——ハイテク・ユートピアに埋め込まれた三つの世界——」庄司興吉編『変貌するアメリカ太平洋世界Ⅴ 情報社会変動のなかのアメリカとアジア』彩流社, 2004.11, pp.187-206.
- 「都市」小田隆裕・柏木博・巽孝之・能登路雅子・松尾弑之・吉見俊哉編『事典 現代のアメリカ』大修館, 2004.10, pp.234-242.
- 「「公共性」の喪失と「公共性」の再侵攻——都市空間をめぐる新しい紛争——」今田高俊・金泰昌編『公共哲学 13 都市から考える公共性』東京大学出版会, 2004.7, pp.123-137.
- 「開発主義の終焉か、新しい開発主義か——誰のために「開発」は語られるのか」渡辺治編『変貌する<企業社会>日本（一橋大学大学院社会学研究科先端課題研究1）』旬報社, 2004.7, pp.117-137.
- 「東京：一個再全球化的故事」周振華・陳向明・黄建富編『世界城市——国際経験与上海発展』上海社会科学院出版社, (中国語) 2004, pp.180-188.
- “On the Corner of Diverse/Reverse Globalization: The Third Stage of Global 'Urban Studies'” *International Journal of Urban and Regional Research*, vol.27, no.4, 2003.12, pp.957-959.
- “Living in a Transnational Community within a Multi-Ethnic City: Making of Localized 'Japan' in Los Angeles” Roger

- Goodman, Ceri Peach, Ayumi Takenaka, and Paul White, eds., *Global Japan: The Experience of Japan's New Immigrants and Overseas Communities*, RoutledgeCurzon, 2003, pp.147-156.
- 「ロスアンジェルスにおける駐在員コミュニティの歴史的経験——『遠隔地日本』の形成と変容」岩崎信彦・ケリ・ピーチ・宮島喬・ロジャー・グッドマン・油井清光編『海外における日本人、日本のなかの外国人——グローバルな移民流動とエスノスケープ』昭和堂、2003, pp.170-185.
- “Narrating a 'Global City' for 'New Tokyoites': Economic Crisis and Urban Boosterism in Tokyo”Hugo Dobson and Glenn D. Hook (eds.) *Japan and Britain in the Contemporary World: Responses to Common Issues*, pp.196-212, RoutledgeCurzon, 2003, pp.196-212.
- 「都市研究」伊豫谷登士翁編『思想読本 8 グローバリゼーション』作品社, 2002, pp.60-61.
- 「ビジョンなき『都市再生』の行方——バブル期の経験から何を学ぶか——」『月刊東京』2002年10月号, 2002, pp.14-19.
- 「『国土』に充たされていく開発——戦後復興期の開発ナショナリズム——」『ポリティーク』5号, 2002 pp.144-169.
- 「戦前期における在日朝鮮人メディアの形成と展開——内務省警保局資料を中心に——」『一橋大学研究年報 社会学研究』40号, 2002, pp.181-234.
- 「『世界都市』を都市・地域社会学に埋め戻す——グローバル・パースペクティブの歴史的意味——」『日本都市社会学会年報』20号, 2002, pp.27-43.
- 「戦後日本における開発主義イデオロギーの形成と展開」『総合研究プロジェクト・ディスカッションペーパー』7号, 2001, pp.1-22.
- 「開発の歴史社会学序説——佐久間ダム建設を事例として」金子勇・森岡清志編『都市化とコミュニティの社会学』, ミネルヴァ書房, 2001, pp.253-270.
- 「世界都市からグローバルシティへ——『世界都市』東京の20年——」梶田孝道・宮島喬編『国際社会1 国際化する日本社会』, 東京大学出版会, 2000, pp.97-128.
- 「再加熱イデオロギーとしてのグローバリゼーション——『世界都市』東京の動機づけ危機」『現代思想』2000年10月号, 2000, pp.62-79.
- 「グローバリゼーションのローカルな基礎——『単一化された想像上の空間』形成をめぐる政治」『社会学評論』第50巻第4号, 2000, pp.124-139.
- “Local Settlement Patterns of Foreign Workers in Greater Tokyo: Growing Diversity and its Consequences.”in M. Douglass and G. Roberts (eds.) (ed.) *Japan and Global Migration: Foreign Workers and the Advent of a Multicultural Society*, London: Routledge, 2000, pp.176-195.
- 「地域開発としての博覧会——愛知万博招致をめぐる社会過程」一橋大学社会学部町村ゼミナール編『覧会をめぐる「地元」の社会学——2005年愛知万博と瀬戸地域開発』1999, pp.1-22.
- 「グローバリゼーションの社会学——想像力からリアリティへ」『情況（現代社会学のトポス：社会空間への問い）別冊』1999年12月号, 1999, pp.184-195.
- 「『豊かさ』の語りの行方——『地域開発』という思考の転機」『都市問題研究』51巻2号, 1999, pp.78-108.
- 「グローバル化と都市——なぜイラン人は『たまり場』を作ったのか」奥田道大編『講座社会学4 都市』, 東京大学出版会, 1999, pp.159-211.
- 「バブル期以降における都市階層変動——東京を事例に」倉沢進先生退官記念論集刊行会編『都市の社会的世界——倉沢進先生退官記念論集』倉沢進先生退官記念論集刊行会, 1998
- *“Symbolic Use of Globalization in Urban Politics in Tokyo.” *International Journal of Urban and Regional Research*, vol.22, no.2, 1998, pp.183-194.
- 「エスニック・メディアのジレンマ——ロスアンジェルス日本系メディアを事例に」奥田道大編『都市エスニシ

- 『ティの社会学』 ミネルヴァ書房, 1997, pp.123-142.
- “Building a Capital for Emperor and Enterprise: The Changing Urban Meaning of Central Tokyo.” in W.B.Kim, M.Douglass, S.Choe & C.Ho (eds.) (ed.) *Culture and the City in East Asia.*, Oxford: Clarendon Press, 1997, pp.151-166.
- 「ロスアンジェルス日本系コミュニティの成立と展開——グローバル化時代における想像力としての地域社会」 『<地域・空間>の社会学 地域社会学年報 第9集』 時潮社, 1997, pp.71-105.
- 「グローバル化の都市的帰結——移動者視点から見た都市」 井上俊・上野千鶴子ほか編『岩波講座 現代社会学 18 都市と都市化の社会学』 岩波書店, 1996, pp.189-211.
- 「グローバル化と都市変動——『世界都市論』を超えて」 『経済地理学年報』 41 巻 4 号, 1995, pp.1-12.
- 「都市の可能性——局所と広域のリアリティの狭間で」 『都市問題研究』 47 巻 11 号, 1995, pp.44-57.
- *“Between State and Capital: Third Sector Organizational Development in Tokyo.” (with O’Leary, James) *Comparative Politics*, vol.27, no.3, 1995, pp.317-337
- 「エスニック・メディアの歴史的変容——国民国家とマイノリティの 20 世紀」 『社会学評論』 44 巻 4 号, 1994, pp.52-66.
- 「世界都市の設計技法——2つのシステムがせめぎ合う社会空間をいかに実現するか」 『NIRA 政策研究』 6 巻 5 号, 1994, pp.34-39.
- 「越境するメディアと日本社会」 『一橋論叢』 110 巻 2 号, 1993, pp.255-273.
- 「外国人居住とコミュニティの将来」 蓮見音彦・奥田道大編『21 世紀日本のネオコミュニティ』 東京大学出版会, 1993, pp.47-51.
- 「エスニック・メディア研究序説」 『一橋論叢』 109 巻 2 号, 1993, pp.191-209.
- *“The Urban Restructuring Process in Tokyo in the 1980s : Transforming Tokyo into a World City” *International Journal of Urban and Regional Research*, vol.16, no.1, 1992, pp.114-128.
- 「農民層と農民意識の構造的把握（蓮見音彦・似田貝香門・江上渉と共著）高橋明善・蓮見音彦・山本英治編『農村社会の変貌と農民意識——30 年間の変動分析——』 東京大学出版会, 1992, pp.257-322.
- 「『世界都市』化する東京——構造転換のメカニズム——」 倉沢進・町村敬志編『都市社会学のフロンティア 1 構造・空間・方法』 日本評論社, 1992, pp.3-52.
- 「グローバリゼーションと世界都市形成」 梶田孝道編『国際社会学』 名古屋大学出版会, 1992, pp.114-133.
- 「フレキシブルな空間の生産? ——都市改造のねらいとその限界——」 『社会学ジャーナル』（筑波大学社会学研究室） 16 号, 1991, pp.80-112.
- 「『都市』社会学の可能性——『ミッドウタウン』から考える」 『年報筑波社会学』 2 号, 1990, pp.117-123.
- 「近代日本における都市変動の類型と要因」 高橋勇悦編『現代都市の社会構造』 学文社, 1990, pp.4-35.
- 「産業構造の変動と地域経済界」 蓮見音彦・似田貝香門・矢澤澄子編『都市政策と地域形成——神戸市を対象に——』 東京大学出版会, 1990, pp.180-94.
- 「産業構造の転換と地域開発の展開——先取りされた「都市構造再編」モデルとしての神戸」 蓮見音彦・似田貝香門・矢澤澄子編『都市政策と地域形成——神戸市を対象に——』 東京大学出版会, 1990, pp.57-78.
- 「世界社会イメージの拡大——外なる世界社会から内なる重界社会へ」 古城利明編『世界社会のイメージと現実』 東京大学出版会, 1990, pp.109-135.
- 「絶えず再生産され、乗り越えられる限界——80 年代日本社会における『異質性』対応様式の展開」 町村敬志編『国際化の風景——メディアからみた日本社会の変容』, 1990, pp.9-20.
- 「都市構造再編連合の形成と展開: 「世界都市」化の政治的基盤」 『社会学ジャーナル』 15 号, 1990, pp.4-38.
- 「現代都市におけるアクティビズムの所在」 矢澤修次郎編『都市社会運動の可能性（地域と自治体 17）』 1989, pp.47-66.
- 「世界都市＝東京論を考える」 『月刊東京』（東京自治問題研究所） 1989 年 5 月号, pp.8-14

- 「日本企業の多国籍化とその地域的インパクト——グローバルな構造再編と世界都市形成——」『社会学ジャーナル』（筑波大学社会学研究室）14号, 1989, pp.102-119.
- 「低成長期における都市社会運動の展開——住民運動と「新しい社会運動」の間」庄司興吉・栗原彬編『社会運動と文化形成』東京大学出版会, 1987, pp.157-184.
- 「都市空間の社会学・序説」山岸健編『日常生活と社会理論』慶應通信, 1987, pp.287-306.
- 「「原型」としての都市社会学——R.E.パークの残したもの」ロバート・E・パーク『実験室としての都市』（好井裕明との共編訳）, 御茶の水書房, 1986, pp.229-248.
- 「地域社会計画と住民意識調査」（松本康と共著）庄司興吉編『住民意識の可能性』梓出版社, 1986, pp.96-115.
- 「地域社会計画と住民運動」（古城利明との共著）, 庄司興吉編『住民意識の可能性』梓出版社, 1986, pp.71-95.
- 「都市社会と都市空間の関係性——東京の都市空間の変容——」吉原直樹・岩崎信彦編『都市論のフロンティア——<<新都市社会学>>の挑戦』有斐閣, 1986, pp.69-98.
- 「都市生活の制度的基盤——資源配分の社会過程——」吉原直樹・岩崎信彦編『都市論のフロンティア——<<新都市社会学>>の挑戦』有斐閣, 1986, pp.99-132.
- 「現代大都市の構造変容——「世界都市」化のインパクト——」庄司興吉編『世界社会の構造と動態——新しい社会科学をめざして』法政大学出版局, 1986, pp.87-112.
- 「再開発計画分析——都市再開発政策の策定過程と影響 大崎、大井町、西大井の再開発をめぐる——」（橋本和孝、松本康、三本松政之と共著）品川区職員労働組合・東京自治問題研究所編『水と緑の人間都市品川をめざして——品川区長期基本計画等検討調査会報告書——』1986
- 「地域社会計画と都市の変容」庄司興吉編『知識社会計画と住民自治——新しい“まちづくり”のために』梓出版会, 1985
- 「都市社会運動における構造と主体——社会運動のロマンチズムをこえて——」『思想』No.737, 1985, pp.158-175.
- 「全体社会と都市」鈴木広・倉沢進編『都市社会学』アカデミア出版会, 1984, pp.119-146.
- 「都市社会論の国家論的位相——「新しい都市社会学」をめぐる——」『思想』No.711, 1983, pp.78-96.（鈴木広・倉沢進・秋元律郎編『都市化の社会学理論——シカゴ学派からの展開』ミネルヴァ書房, 1987, pp.201-228.に再録）
- 「地域政策と都市の社会的編成」（蓮見音彦・似田貝香門との共著）蓮見音彦編『地方自治体と市民生活』東京大学出版会, 1983, pp.415-459（担当 pp.421-429）.
- 「都市社会と国家の相互浸透——現代都市政策に関する一試論」『ソシオロギス』6号, 1982, pp.98-111.
- 「市町村レベルにおける『粉せっけん使用推進県民運動』の展開——行政による「自発性の動員」と住民の主体性——」現代社会研究会編『環境・消費者問題をめぐる行政と住民——琵琶湖問題と合成洗剤問題』（昭和55・56年度科学研究費補助金（総合A）研究成果報告書I）, 1982, pp.44-55.
- 「都市社会の全体性と社会学的知識の役割」『ソシオロギス』5号, 1981, pp.122-133.

（c）翻訳

- 『スクリプナー思想史大事典』スクリプナー思想史大事典翻訳編集委員会訳（項目訳）, 丸善出版, 2016.
- 『都市社会学セレクションIII 都市の政治経済学』（共訳編）日本評論社 2012.
- ランドル・コリンズ『ランドル・コリンズが語る社会学の歴史』（共訳）有斐閣 1997.
- ロバート・E・パーク『実験室としての都市——パーク社会学論文選』（好井裕明との共訳編）御茶の水書房, 1986.

（d）その他

（研究報告書）

- 『イベントスペースの現在—「東京イベントスペース 2016」データ分析をもとに—』(編著), 科学研究費補助金 研究成果報告書, 2017.3
- 『パブリックスペースの現在——危機とブームの狭間で——』(編著) 一橋大学大学院社会学研究科社会学共同 研究室(リサーチアウトプット・シリーズ), 2016.3, 144 頁.
- 『窓がつくる社会、社会がつくる窓』(「窓の社会学」プロジェクト成果報告書)(編著), 84 頁, 2016.3.
- 『計画停電・節電と国立駅前商店街——2011 年「商店街と地域社会」調査報告—』(編著), 一橋大学大学院社 会学研究科社会学共同研究室(リサーチアウトプット・シリーズ), 2012.3 (一橋大学機関リポジトリで公 開)
- 『東日本大震災クロニクル 2011.3.11-2011.5.11——別刷り報告書——』(作成参加), 科学研究費成果物, 2012.3. (一橋大学機関リポジトリで公開)
- 『評価国家の構造と動態——「新しい介入主義」分析の構想——』(編著), 科学研究費挑戦的萌芽研究(2009~ 2010 年度)研究成果報告書, 2011.3
- 『市民エージェントの構想する新しい都市のかたち——グローバル化と新自由主義を越えて——』(科学研究費 基盤研究(B)(2005~2008 年度) 研究成果報告書)(編著), 科学研究費補助金研究成果報告書, 2009.3 (一橋 大学機関リポジトリで公開)
- 『首都圏の市民活動団体に関する調査——調査結果報告書——』(編著), 科学研究費補助金 2006 年度報告書 (平成 17~20 年度), 2007.3 (一橋大学機関リポジトリで公開)
- 『パブリック・スペースを読み解く——東京「サイト・レポート」集成——』(編著), 一橋大学大学院社会学研 究科社会学共同研究室(リサーチアウトプット・シリーズ), 2007.3.
- 『ポスト成長期における持続可能な地域発展の構想と現実——開発主義の物語を超えて——』(編著), 科学研 究費補助金研究成果報告書, 2005.3
- 『開発の時間・開発の空間——「佐久間ダム」再考』(科学研究費報告書 2003 年度)(編著), 開発史研究会, 2004.3.
- 『オープンスペースの社会学——東京で「のすきま」を探す』(編著) 一橋大学大学院社会学研究科社会学共 同研究室(リサーチアウトプット・シリーズ), 178 頁, 2004.3.
- 『ポスト・バブル期大都市における階層分極化に関する研究』(編著), 平成 7・8 年度科学研究費補助金基盤研 究 C2 研究成果報告書, 1998
- 『「国際化」の風景——メディアからみた日本社会の変容——』(編著) 国際化とメディア研究会, 1990.

(事典項目)

- 『都市科学事典』春風社, 2021 年, 『社会学理論応用事典』丸善, 2017 年, 『コミュニティ事典』春風社, 2017 年, 『社会調査事典』丸善, 2014 年, 『人の移動事典 日本からアジアへ・アジアから日本へ』丸善, 2013 年, 『現代社会学事典』弘文堂, 2012 年, 『新版キーワード地域社会学』ハーベスト社, 2011 年, 『社会学事典』丸善, 2010 年, 『情報学事典』弘文堂, 2002 年, 『キーワード地域社会学』ハーベスト社, 2000 年, 『新訂 増補 アメリカを知る事典』平凡社, 2000 年, 『福祉社会事典』弘文堂, 1999 年, 『社会学文献事典』弘文 堂, 1998 年, 『日本史辞典』山川出版社, 1997 年, 『社会学小辞典 新版』有斐閣, 1996 年, 『世界民族問 題事典』平凡社, 1995 年, 『新社会学辞典』有斐閣, 1993 年, 『戦後史大事典』三省堂, 1991 年, 『社会学 事典』弘文堂, 1988 年, 『国史大辞典』吉川弘文館, 1986 年

(その他)

- 『新編千代田区史 通史編』東京都千代田区(分担執筆), ぎょうせい, 1998.
- 「東京の国際化に関する行政需要調査結果報告書」(部分執筆), 東京都企画審議室編『世界に開かれた都市の形 成に向けて』東京都, 1988.

「再開発の影響と品川区の将来——大崎地域環境調査を中心に——」(部分執筆), 品川区職員労働組合・東京自治問題研究所編『東京改造と品川のまち・ひと・暮らし』東京自治問題研究所,1988
「四全総の策定とその社会的背景」東京自治問題研究所編『都市・21世紀・自治』,1985, pp.37-42.

〔一般雑誌等への論文・記事等の掲載〕

「巻頭のことは 動きのなかで「都市・地域」の<いま>をさがす」(第1~6回)『書齋の窓』(有斐閣) No.669-674,2020-2021.

「対談 目的・手段としての観光から、地域の触媒としての観光へ」(十代田朗・門脇耕三・松島潤平・宮城島崇人と)『建築雑誌』vol.133, No.1713 (2018年7月号), pp.3-6.

「『開発と成長』の記録——産業記録映画の保存をめぐる——」『如水会々報』No.949, 2009, pp.33-36.

「新しいスタンダードを求めて——社会学教育とテキスト『社会学』をめぐる(上・下)」(今田高俊・長谷川公一・浜日出夫・藤村正之と),『書齋の窓』(有斐閣), No.575 (2008年6月), pp.2-12, No.576(2008年7・8月号), pp.2-16.

「都市の営みとリテラシー——社会学の立場から(インタビュー)」『建築雑誌』(日本建築学会), vol.123, no.1574, 日本建築学会, 2008.3, pp.34-35.

「討議 サッセンをどう読むか」(伊豫谷登士翁・吉見俊哉と)『現代思想』2003年5月号, 31巻6号, pp.40-57.

「都市とエスニシティ——姿を現す新しい文化のかたち——」(シンポジウム 現代文化の葛藤と人間の未来——エスニシティ、都市、環境の視点から——講演2)『応用社会学研究』(立教大学社会学部) No.45, 2003, pp.9-15.

「市民と地域——大会シンポジウム問題提起に代えて——」『会報』(地域社会学会) No.102, 2000, pp.14-16.

「脱領域化と再領域化——地域社会を再編させる2つの力——」『会報』(地域社会学会) No.91, 1998, pp.2-6.

「講演(2)大文字の「世界都市」、小文字の「世界都市」(公開講演会 次世代時代における大都市東京の構造・機能・役割)」『総合都市研究』63号, 1997.9.

「『生活都市東京を考える会「中間のまとめ」』を読む」『東京』(東京自治問題研究所) No.163(1996.10), pp.19-23.

「都市とフレキシビリティ」『創文』333号, 1992, pp.6-9.

「半生を語る: 中村八朗教授(インタビュー)」(中村八朗・副田義也と)『社会学ジャーナル』No.14, 1989, pp.8-46.

「第三回研究会藤田報告に寄せて」『会報』(地域社会学会) No.27 1985, pp.5-7.

「第2回大会自由報告の印象」『日本都市社会学会年報』2号, 1984, pp.3-4.

B. 本研究科着任後の研究活動(着任1991年)

(a) 国内外学会発表

「COVID-19「自粛」下における施設形態とイベントスペースの危機——東京イベントスペース調査2020から

(1)「COVID-19「自粛」下の社会運動とスペース——東京イベントスペース調査2020から(2)」「COVID-19「自粛」下におけるナイトライフの生存戦略——東京イベントスペース調査2020から(3)」(栗原真史, 長島祐基, 山内智瑛ほかと共同報告)第93回日本社会学会大会, 松山大学(オンライン), 2020.10.31.

「COVID-19「自粛」とイベントスペース——東京イベントスペース調査2020から(1)」「COVID-19「自粛」下のクラブ・ライブハウスの生き残り戦略——東京イベントスペース調査2020から(2)」「COVID-19「自粛」下の同人誌即売会とリアルスペース——東京イベントスペース調査2020から(3)」(辰巳智行, 高橋絢子, 杉山怜美ほかと共同報告)日本都市社会学会第38回大会, オンライン, 2020.9.5-6.

*“Losing Control in Further Globalization?: Challenges and Difficulties of Tokyo as a Post-global City”, John Bousfield Public Lecture, Program in Planning, University of Toronto, 2020.1.

- * “Is public space still “public”?: Common conditions of Asian urban future for equality and fairness”, Taiwan Sociological Association Annual Meeting, Taipei: Academia Sinica, 2019.11.
- “The Policy Coalition for the “Global City 2.0”? : Changing Local Power Structures and the Position of Civil Society Organizations in Tokyo”, VSJF: Annual Conference of the German Association for Social Science Research on Japan “Metropolitan Japan in Historical and Contemporary Perspective”, Ruhr University Bochum, 2019.11.
- * “Hidden Dimensions of Olympic Games: Tokyo, from 1964 to 2020”, Lecture series “East Asia Today” Centre for Asian and Transcultural Studies (CATS), Heidelberg University, 2019.11.
- * 「グローバル化の先に——「社会がやせ細る時代」を通過した社会学は何を語るのか——（会長講演）」（日本社会学会第92回大会），東京女子大学, 2019.10.
- “Diversified forms of public space in Asian contexts: Common conditions of future for security and equality”, The 23rd Biennial ASSREC General Conference, Vietnam Academy of Social Sciences, 2019.9.
- “Governance Problems of Tokyo as a Post-global City: Losing Control in Globalization?”, The Conference on East Asian Urban Social Changes and Social Governances, Shanghai University, 2019.5.
- * “Losing Control in Globalization?: Challenges and Difficulties of Tokyo as a Post-global City”, EHESS Conference with the support of Toyota Frontier Research Center, Paris: EHESS, 2019.1.
- 「社会運動論に「構造」的視点をいかに取り戻すか—再帰的なローカルナレッジとしての社会運動—」東北社会学研究会, 東北大学, 2018.12.
- “Tokyo’s flexible but uncontrollable city-regions as innovative base: Its past development and future challenges”, IN-EAST Workshop: Social Processes and Effects of Innovations in Tokyo and Beyond, IN-EAST School of Advanced Studies, Universität Duisburg-Essen, 2018.11.
- “Global city regions as the innovative base: Thinking about its possibility and limits from the experience of Tokyo”, International conference, Social Changes and Social Governances in the Emerging Market Economies, Shanghai University, 2018.11.
- * 「ポスト・グローバルに向けた都市研究の課題——東京・日本・アジア・世界から考える——」人文地理学会大会, 明治大学, 2017.11.
- “Financialization, ranking, and urban governance: how can society deal with modern “big things”?”, The 15th East Asian Sociology Forum, Huazhong University of Science and Technology, 2017.10.
- 「「イベントスペース」形成をめぐる対立・紛争と価値創発性—東京イベントスペース分析 2017 ①」日本都市社会学会第35回大会, 早稲田大学, 2017.9.
- * 「高度経済成長期以降の日本における社会階層と社会構造——浮上する「格差」の語り」国際学術シンポジウム「日本政治と社会文化」、中国社会科学院日本研究所主催, 北京和敬府賓館, 2016.12.
- “How to cope with traveling ideas in global sociology: Can we speak “gentrification” in cities without “gentry””, The 14th East Asian Sociologists Network Conference, Chung-Ang University, Seoul, 2016.11.
- * 「誰が東京を奪ったのか?——都市空間変容の半世紀から考える」日本都市社会学会第34回大会シンポジウム, 佛教大学, 2016.9.4.
- * 「ノイズとしてのパブリックスペース——「空間争い」の時代に商店街を考える」関東社会学会第64回大会シンポジウム, 上智大学, 2016.6.
- 「東京「政治」の組織的基盤——都市構造再編推進連合の解体と変容」地域社会学会第41回大会, 桜美林大学, 2016.5.15.
- * 「オリンピックと開発主義——「東京オリンピックは、もう始まっている」」日本スポーツ社会学会第25回大会, 一橋大学, 2016.3.
- “Surviving for/with Neighborhoods and Old Customers: Some Lessons from Tokyo”, The Gotham Center for New York City History, “New York’s Local Shops: Keeping Small Business Alive in a Global City”, City University of New York,

Graduate Center, 2016.3.

「災害の経験」と「運動の経験」——重層する「時間」軸から「社会運動の地勢」の変化を再考する（菰田レエ也との共同報告）日本社会学会第 88 回大会, 早稲田大学, 2015.10.

「メガシティ東京の過去・現在・未来——都市比較から考える」日本学術会議学術フォーラム, 日本学術会議, 2015.7.

*「2020 東京オリンピックと都市開発——グローバル化時代における都市アイデンティティの揺らぎ」韓国社会史学会 2014, ソウル大学校, 2014.10.

*“From Global City to 'Risk and Mega-event': Changing 'Integration' Narratives in Tokyo”, Innovation and the Making of Metropolitan Identity: International Symposium organized by Mairie de Paris, SciencesPo., CEE & LATTs., Hotel de Paris, France, 2013.11.

*「都市社会学という「問い」の可能性——構造と変動から 30 年を振り返る」日本都市社会学会第 30 回大会, 立教大学, 2012.9.

“When switching off the city: disaster, stress, and everyday resilience in Japan”, American Sociological Association Annual Meeting, Denver: Colorado Convention Center, 2012.8.

“Examining 'attempted' state rescaling as a political strategy in Japan: From global city formation to 'Heisei municipal mergers’”, 地域社会学会第 37 回大会, 慶應義塾大学, 2012.5.

“Neoliberal Developmentalism and/or its Beyond: Political Regime Shift and its Urban Meaning in Post-growth Japan”, World Congress of Sociology, Goteborg, Sweden, 2011.7.

*“Power and Openness: Appropriating City Space for Re-creating "the Urban"”, Osaka City University International Symposium "Urban Regeneration through Cultural Creativity and Social Inclusion, Osaka City University, Urban Research Plaza, 2010.12.

「評価・国家・主体(1)——『生きられた新自由主義』の権力構造分析——」日本社会学会第 83 回大会, 名古屋大学, 2010.11.

“Global City” History of Tokyo since 1980s: Dream, Crisis and Change”, 韓国・地域社会学会大会秋期定期学術大会, Ajou University, Suwon (水原), 2009.11.

“Financial Crisis and a Sense of " déjà-vu": Tokyo's Experiences since 1980s”, Society for the Advancement of Socio-Economics (SASE), Economic Regulation and Social Solidarity: After the Fall of Finance Capitalism, Sciences Po, Paris, 2009.7.

「開発」を描かない「開発映画」はいかにして「開発映画」となったのか」記録映画アーカイブ・プロジェクト「イメージとしての開発～岩波映画・佐久間ダムを見る～」第 1 回ワークショップ, 東京大学情報学環福武ホール, 2009.5.23.

“Doing Sociology in Native Language in a Globalizing World: Thinking about Its Significance and Difficulty in Japan”, International Sociological Association, Conference of the Council of National Associations, Facing an Unequal World: Challenges for Sociology, Academia Sinica, Taipei, 2009.3.

“Global City Hypothesis Reconsidered: Reconstructing Multi-Layered Intersection between the Global and the City within Diverse/Reverse Globalization”, International Sociological Association, Research Committee 21, International Conference on Landscapes of Global Urbanism: Power, Marginality, and Creativity, International House of Japan, Tokyo, 2008.12.

*「まわりつく国家と再埋め込みされる越境者——なぜ行進の群衆は星条旗を掲げたのか——」日本社会学会第 81 回大会 シンポジウム「ポスト・ナショナリズム時代の新たな連帯の可能性」東北大学, 2008.11.

*「再埋め込みされるボーダーランド——変容するメディア空間とエスニック・ロサンゼルス」アメリカ学会第 42 回年次大会, 同志社大学, 2008.6.

- “Migrants' Los Angeles Revisited: Studying Ethnic LA through its Immigrant Media”, J-Wave USA: Southern California as the Gateway to Japanese Contemporary Creative Industries in the West, Conference, Exhibition and Reception, UCLA, 2008.3.
- 「首都圏における市民活動団体の現在(1)——都市社会運動の現代的課題と調査方法——」第 80 回日本社会学会大会, 関東学院大学, 2007.11.
- * 「シンポジウム 日本社会の構造変化と犯罪・非行の動向 III都市社会学の視点から」日本犯罪社会学会第 34 回大会, 龍谷大学深草学舎, 2007.10.
- “Evaluation and Certification as an Institutional Basis of Civic Mobilization: Urban Governance and Power Structure in Neo-liberal Tokyo”, International Sociological Association, Research Committee 21, International Conference, University of British Columbia, Vancouver, 2007.8.
- * 「社会運動の変化と新しい「公共性」の行方——日本における「市民社会」の現在——」ソウル大学校日本研究所開設 1 周年記念国際学術会議「日本のシステム変革」, ソウル大学校国際大学院, 2006
- * 「落日のグローバル・シティから見える風景——東京の現在と未来——」立命館大学国際言語文化研究所、「連続講座（第 17 シリーズ）グローバリゼーションと植民地主義 III グローバル・シティの問題」, 立命館大学, 2006.11.18.
- “From a Declining Global City to a Competitive Mega-city?: Tokyo in the "Lost Decade" and its Aftermath”, International Conference “Restructuring and Competitiveness of Major City-Regions in Northeast Asia”, Korea Research Institute for Human Settlements, 2006.8.
- * 「メガ・イベントと都市空間——第 2 ラウンドの「東京オリンピック」の歴史的意味を考える」日本スポーツ社会学会 学会大会, 奈良教育大学, 2006.3.
- “Hidden Politics of Cultural and Political Representation in a Public Park”, Dialogic Conference, Globalization and Civic Space: Cities, Community Life and the Public Sphere, East-West Center, Honolulu, Hawaii, 2005.8.
- * 「「構造と主体」の呪縛——戦後日本社会学が見ようとしたもの」関西学院大学 COE ワークショップ 2004 「幸福のフィールドワークへ——社会学・人類学・民俗学クロスセッションの試み」, 関西学院大学, 2005.3.
- * 「「速さ」の都市から「鈍さ」の都市へ——社会学の視点から考える」東京大学生産技術研究所・都市の持続性フォーラム「社会科学は都市の持続性を捉えられるか」, 2004.11, 東京大学生産技術研究所
- シンポジウム「グローバリゼーションと移民」日本移民学会第 14 回年次大会, 早稲田大学, 2004.6.27 (コメンテーター)
- * 「「市町村合併」のイデオロギー的基盤——都市間競争・「周辺部」再統合・幻視される広域圏——」地域社会学会大会シンポジウム, 松山大学, 2003.5.
- * “Constructing Multiple Narratives of Globalization: Tokyo, a Global City on the Decline”, 上海社会科学院経済学研究所 国際会議「上海経済発展と国際大都市比較」上海社会科学院, 2002.5.18-19.
- 「佐久間ダム・開発の歴史社会学へ向けて（4）「開発する主体」はいかに作られたか——国民的体験としての佐久間ダム」第 74 回日本社会学会大会, 一橋大学, 2001.11.24-25.
- ** “Narrating a ‘Global City’ for New Tokyoites: Economic Crisis and Urban Boosterism in Tokyo”, Anglo-Japanese Academy, Conference on National, Regional and Global Transition: A Common Agenda for Anglo-Japanese Relations in the Twenty-first Century, University of Sheffield, 2001.9.7-8.
- ** “Living in a Multi-racial city: Historical Experiences of Japanese in Los Angeles”, Oxford Kobe Seminars, The International Symposium on Immigration Policy in Japan, EU and North America, St. Catherine’s College, University of Oxford, Kobe Institute, 2001.4.
- 「イデオロギーとしての全球化——北京のシリコンバレー（珪谷）における 3 つの世界——」文部省科学研究費補助金特定領域研究 (B) 「アジア太平洋の構造変動における米国の位置と役割に関する総合的研究」第 4

回全体研究会議 国際文化会館（東京）, 2001.2.

- * 「日本の市民運動と代案政治の模索」ハンシン大学開校 60 周年記念国際シンポジウム「市民運動と代案政治——新しい市民的地域リーダーシップの模索, 韓国ハンシン大学校（水原）, 2000.6.
- “Narrating a 'Development' Story: Power and Discourse in the Politics of the Spectacular Event”, Hiroshima International Conference, City, State and Region in a Global Order: Toward the 21st Century, Hiroshima International Conference Center, 1999.12.19-20.
- “Narrating a 'Development' Story: Building a World City through the Politics of the Spectacle”, World Congress of Sociology, Montreal, 1998.7
- * 「想像力としての『地域』 --ロスアンジェルス日系コミュニティの成立と展開」第 21 回地域社会学会大会, シンポジウム「<地域・空間>の方法的展開」奈良女子大学, 1996.5.19.
- * 「都市アイデンティティの政治社会学——グローバル化と東京政治」日本政治学会 1995 年度研究会、分科会 D 「東京の政治経済学」, 法政大学, 1995.10.7
- * 「世界都市論を超えて——東京研究の新しくて古い課題——」経済地理学会第 42 回大会, お茶の水女子大学, 1995.5.29.
- **“Symbolic Use of Globalization in Urban Politics in Tokyo,” ISA, XIII World Congress of Sociology, Symposium I: the Global and Local, Bielefeld University, 1994.7.18-23.
- “Visible Center and Invisible Center in Modern Tokyo: The Urban Meaning of the Imperial Palace and Marunouchi,” Workshop on Culture and Built Environment in Asian Cities, East-West Center, Honolulu, 1994.4.24-26.
- “The Rise and Fall of Urban Restructuring Coalitions in Tokyo,” ISA, RC21 conference, UCLA, 1992.4.23-25.
- “Limits of Flexibility: Social and Political Outcomes of Urban Restructuring in Tokyo”, SSRC and International House of Japan Conference, “Tokyo, New York and Paris: Nodes in the Global System of Cities, 1850-2020”, International House of Japan (国際文化会館) , 1991.10.14-17.

(b) 国内研究プロジェクト

- 「社会と基盤」研究会の組織運営(英文誌 DISASTER, INFRASTRUCTURE AND SOCIETY: Learning from the 2011 Earthquake in Japan の一橋大学機関リポジトリにおける刊行 (No.1-7(2011-2018)) 等) 2011-2021.
- 科学研究費補助金・基盤研究(B), 「高さ」を疑う、「高さ」を背負う——新しい都市ガバナンスの社会学」(研究代表者), 日本学術振興会, 2019.4.1-2022.3.31
- YKKAP 窓研究所・「窓学」プロジェクト, 「窓の社会学」(研究代表者), YKKAP 株式会社 窓研究所, 2015.4.1-2016.3.31
- 科学研究費補助金・基盤研究(A), 「グローバル化以降における資本制再編と都市—インフラ論的転回と市民社会の研究」(研究代表者), 日本学術振興会, 2014.4.1-2019.3.31
- 科学研究費補助金・基盤研究(B), 「グローバル化以降における資本制再編と都市—<ヒト・モノ>関係再編と統治性の研究」(研究代表者), 日本学術振興会, 2011.4.1-2015.3.31
- 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究, 「評価国家の構造と動態——「新しい介入主義」分析の構想」(研究代表者), 日本学術振興会, 2009.4-2011.3
- 科学研究費補助金・基盤研究(B), 「市民エージェントの構想する新しい都市のかたち—グローバル化と新自由主義を越えて—」(研究代表者), 日本学術振興会, 2005.4.1-2009.3.31
- 日本証券奨学財団研究助成金, 「都市再生のための市民エージェントの創出基盤——社会運動・市民企業・NPOの壁を越えて」(研究代表者), 日本証券奨学財団, 2004.11-2005.11
- 科学研究費補助金・基盤研究(B)(2), 「ポスト成長期における持続可能な地域発展の構想と現実—開発主義の物語を超えて—」(研究代表者), 日本学術振興会, 2002.4.1-2005.3.31

科学研究費補助金・基盤研究(B)(2), 「脱『成長』期における地域開発の構想と現実—『地域』を紡ぎ出す言葉の可能性—」(研究代表者), 文部省, 1999.4.1-2002.3.31

松下国際財団助成金, 「スポーツ・イベントと開発——ナショナリズムと都市建設に関する日韓比較」(研究代表者), 松下国際財団, 1998-1999

科学研究費補助金, 「アジア太平洋の構造変動における米国の位置と役割に関する総合的研究」(研究分担者), 文部省, 1998-2000

科学研究費補助金, 「ポスト・バブル期大都市における階層分極化に関する研究」(研究代表者), 文部省, 1995-1996

(c) 国際研究プロジェクト

「開発主義とテレビ——日本・韓国・中国におけるダム映像を中心に」(NHK アーカイブス・トライアル研究ほか) 2010-2021.

Transnational Workshop “Face of the City: The Survival of Local Shops in a Global Culture” organized by Sharon Zukin, 2009-2015.

“Global Cities as Fragile Giants: New York, London, Paris, and Tokyo” organized by John Mollenkopf et al., Social Science Research Council, 1992-1996.

「エスニック・メディアの比較研究」フルブライト奨学金・研究員プログラム, 1993-1994.

(d) 研究会、シンポ等のオーガナイズ

一橋大学大学院社会学研究科社会学共同研究室「社会学セミナー」2005.11.8~2019.3.20 (計 14 回)

国立民族学博物館・地域研究企画交流センター特別共同研究「人口移動の基礎研究」第 10 回国際シンポジウム「移動から空間をとらえる——21 世紀の移民研究を求めて」(共催: 一橋大学大学院社会学研究科), 第 2 セッション「接続する空間—移民の結びつける空間」(司会), 学士会館, 2004.11.25.

NIRA 30 周年記念シンポジウム「都市をつなぐ 文化をつくる」, セッション 2 〈多文化共生と地域の創生〉, 2005.5.8, 横浜シンポジア (モデレーター)

国際社会学会リサーチコミッティ 21 (地域・都市) (ISA-RC21) 東京会議 2008 「Landscapes of Global Urbanism: Power, Marginality, and Creativity」(組織委員会・委員長), 国際文化会館, 2008.12.17-20 (日本学術振興会「国際研究集会」助成, 2008 年度)

国際社会学会 (ISA) Laboratory for PhD Students in Sociology, 2009, Yokohama(企画運営・講師), 湘南国際村, 2009.10.3-8

社会学研究科市民社会研究教育センター・ソウル大学日本研究所・研究交流ワークショップ「日本の社会変動と地域社会」(主催) 一橋大学佐野書院, 2010.7.30.

国際社会学会 (ISA), XVIII ISA World Congress of Sociology, (世界社会学会議組織委員会・副委員長), パシフィコ横浜, 2014.7.13-19.

日本学術会議社会学委員会社会理論分科会・日本社会学会シンポジウム「コミュニティを問い直す——社会関係資本の光と影」(企画・司会) 九州大学, 2016.10.9.

日本学術会議「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2020」(担当分科会委員・コメンテーター) オンライン開催, 2020.9.3-4,

C. 受賞

東京市政調査会・藤田賞 (第 21 回) (『「世界都市」東京の構造転換——都市リストラクチャリングの社会学』

(東京大学出版会) に対して), 1995 年
地域社会学会賞 (個人著書の部門) (『開発主義の構造と心性』 に対して), 地域社会学会, 2013 年

6. 学内行政

(A) 役員・部局長・評議員等

教育研究評議員 (2010 年 4 月 - 2012 年 3 月)
社会学研究科長・社会学部長 (2012 年 12 月 - 2014 年 11 月)

(B) 学内委員会

教養教育委員 (1995-1997 年度)
学部教育委員 (2000-2001 年度)
大学教育研究開発センター・全学共通教育開発プロジェクト 委員 (2003-2004 年度)
全学教育WG 委員 (2005-2006 年度)
大学院教育専門委員 (2006-2007 年度)
学長選考会議 (議長) (2013-2014 年)

7. 学外活動

(a) 他大学非常勤講師など

国際基督教大学, お茶の水女子大学文教育学部, 慶応義塾大学文学部, 立教大学社会学部, 成蹊大学文学部, 東京大学文学部・教養学部
静岡県立大学国際関係学部 (集中), 九州大学文学部 (集中), 徳島大学総合科学部 (集中), 筑波大学体育専門学群 (集中), 東北大学文学部 (集中), 京都大学文学部 (集中), 奈良女子大学文学部 (集中)

(b) 所属学会および学術活動

日本社会学会 (庶務理事 2006-2009, 常務理事 2012-2015, 会長 2018-2021)
日本都市社会学会 (企画委員会委員長 1997-1999, 学会誌編集委員長 2003-2005, 会長 2007-2011)
地域社会学会 (研究委員会委員長 1998-2000, 編集委員会委員長 2016-2017)
関東社会学会 (機関誌編集委員会委員長 2001-2003)
International Sociological Association (ISA)
ISA Research Committee 21(Urban and Regional Development)(Executive Board Member 1994-1998, 2002-2010, Vice-President 1998-2002)
American Sociological Association
International Journal of Urban and Regional Research (Editorial Board Member 2000-2008)
Foundation for Urban and Regional Studies Limited (UK)(Trustee 2001-2008)

(c) 公開講座・市民講座

「小さなメディアがつくる世界」—「地域の声」を受け継ぐ—市民アーカイブ多摩の経験から」埼玉・市民ジャーナリズム講座, 市民会館おおみや, 2020.2.22
「地域から考える社会の可能性」松山大学大学院社会学研究科・学術講演会, 松山大学, 2019.10.25.
「都市は国家を超えたのか〜「世界都市」東京の過去・現在・未来〜」一橋大学開放講座, 2017.4.24, 如水会館

「周縁はどこにあるのか——変化する現代都市「東京」から考える——」一橋大学社会学部市民講座「周縁から考える—多元的世界から考える—」2016.12.17.

「現代都市における〈場所性〉と〈空間性〉—「空間争い」の時代における商店街を考える—」亜細亜大学都市創造学部・学術講演会,2016.10.24.

「市民活動を分類する——ミニコミという「窓」を通して——」市民アーカイブ多摩・緑蔭トーク第2期第4回,2016.10.22.

「メガシティ東京の過去・現在・未来——都市比較から考える——」日本学会議学術フォーラム,2015.7.11

「社会理論におけるインフラ論的転回——開発主義の過去・現在・未来——」東京大学文学部社会学研究室「社会学談話会」,2014.6.6

「市民社会の活力を「動き」からとらえる—「社会運動／市民活動」調査の経験をもとに—」文教大学「市民社会研究会」「市民社会における市民の役割をめぐって」公開セミナー,2013.6.1

「くにたち地域活動入門」国立公民館主催市民講座,2012.9

「変わる東京、変わらない東京——都市の「慣性」を考える——」トーキョーワンダーサイト レクチャーシリーズ 2011.7.2

“Everyday life in the Japanese city under “crisis”: Disaster, stress, and resilience” and “The consequences of energy developmentalism: Social history of dam and nuclear power in Japan” (公益財団法人交流協会「専門家派遣による講演」)台湾・中山大学、政治大学、台湾大学、中央研究院、中興大学,2011.5.

「常識はなぜ常識なのか—常識の「非-常識」な基盤を考える—」一橋大学社会学部連続市民講座 2011 (「常識を問う — 社会科学の多様な視点」),2011.4.23

「グローバリゼーションと場所—「いま・ここ」から広がる「世界」を想像するために—」同志社大学社会学部公開講演会,2011.1.7

一橋大学・関西アカデミア第6回「都市の創造性」ザ・フェニックスホール,2010.10.9,(シンポジウム・パネリスト)

「東京空間の変容——「グローバルシティ」の夢の後で——」台湾・中山大学日本研究センター,2010.6.21.

「「開発と成長」の記録—産業記録映画の保存をめぐって—」一橋大学開放講座,如水会館,2009.5.21

東京都・都民カレッジ,講師,1997・1998.

「〈開発〉と「映画」、その「夢の結末」——「映画」は〈高度成長〉に何を見たか——」〈シネボックス 公民館映画会〉《シリーズ「ニッポンの記録映画」vol.5》,国立公民館,2005.2.27.

(d) 高校生向け出張講義・模擬講義

2014年10月5日 大学紹介・模擬講義 駿台予備学校

2017年6月21日 模擬講義 国分寺高校

(e) その他(公的機関・各種団体・民間企業等における講演等)

立教大学共生社会研究センター 運営委員 (2010.4.)

ネットワーク市民アーカイブ 運営委員 (2014.)

公益財団法人窓研究所 理事 (2018.-)

公益社団法人日本経済研究センター 研究奨励金審査委員 (2014.-)

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

国立市 都市計画審議会委員 (2002-2004)

文部科学省 大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）専門委員（2018-19）
日本学術会議 第23期・第24期会員（2014-2020, 第一部幹事（2017.10-2019.9）、第一部部長（2019.10-2020.9）、
幹事会, 日本の展望2020検討委員会, 国際委員会、社会学委員会等の委員会・分科会に参加）
日本学術会議 連携会員（2011-2014, 2020-）
日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員（2001-2003）
独立行政法人日本学術振興会 博士課程教育リーディングプログラム委員会専門委員（2016-2019）
独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員（2017-2018）
独立行政法人日本学術振興会 評議員（2019-2020）
独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 倫理委員会委員（2008-2014）

9. 一般的言論活動

- 「都市に陰影を与える「隙間」を探し出せ」『Transit』 No.51, 2021.Spring, p.142.
- 「何を学ぶ? 社会学」『蛍雪時代 全国大学学部・学科案内号』2020年4月臨時増刊, 2020, pp.412-4.
- 「『市民活動資料』の保存・公開から新しい交流の場の構築をめざす——『市民アーカイブ多摩』の取り組みから」『るびゅ・さあんとる』（公益社団法人東京自治研究センター）、No.15（2015.12）, pp.23-28.
- 「ニュースの本棚 東京の課題」『朝日新聞』2014.1.19.
- 「(対談) グローバルシティ、再開発、福祉と財政……東京は誰のものか? 新都政が超えるべきは、「石原」ではない: 都政を支配する都市の論理」(五十嵐泰正と)『Posse: 新世代のための雇用問題総合誌』17（2012年12月）, pp.15-31.
- 「「持続可能」な都市とまちを残すために」『区画・再開発通信』2011年1月号
- 「『市民活動資料センター基金』について」『多摩デポ通信』（特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩）16号, 2010, pp.7-8.
- 「『市民活動資料』とは何か——その重要性と活用の可能性」『市民活動のひろば』（「市民活動のひろば」発行委員会）No.81, 2010, pp.2-3.
- 「対談 目標を見失った都市・東京」『世界』（平山洋介と）2009年12月号
- 「論点 2016年東京五輪招致をどう考えるか 都市見直しの機会に」『毎日新聞』2009.4.3.
- 「座談会 2016年以後の東京とスポーツ空間（原田宗彦・友添秀則ほかと）」『現代スポーツ評論』, 2008.11
- 「インタビュー「鈍さ」の公共空間」『City & Life』（第一住宅建設協会）, no.77(特集 公共空間、新たな視点), 2005, pp.13-16.
- 「多人種都市LAを読み解く」『PLAYBOY 日本版』No.291, 1999, p.40.
- 「ロスアンジェルス「アルメニア」——「祖国」の誕生とディアスポラの変容」『月刊百科』（平凡社）No.439, 1999, pp.26-27.